



# みんなでつくる! こどもまんなか 鹿児島市

いつでも  
だれでも  
すこしでも!

できること  
いろいろ!!

## こどもまんなか 応援サポーター

はじめよう  
おもいやりAction!



すべてのこどもたちが幸せに暮らせるよう、毎日の生活の中で、できるときにできることから、始めてみませんか?

### 「こどもまんなか社会」とは?

すべてのこどもや若者が幸せに暮らせるように、みんなで支えていくことです。鹿児島市では、令和5年に「こどもの未来応援条例」をつくり、家庭や学校だけではなく、社会全体でこどもを守り育てる取組みを推進しています。

### 「こどもまんなか応援サポーター」とは?

こどもへあいさつをした、市電やバスで妊婦さんに席をゆずった、親子が立ち止まっている横断歩道で車を停車した、子ども会などでボランティアをしたなど、こどもや若者のために行動するだけで、応援サポーターになることができます。

※登録や認証は必要ありません。こどもまんなかアクションを実行する全ての方がサポーターです。

### 「こどもまんなかアクション」とは?

「こどもまんなか応援サポーター動画づくりワークショップ」に参加した若者のアクションや想いをまとめました。

- ▶ 登下校中のこどもを見守りました
- ▶ 電車でこども連れの方に席をゆずりました
- ▶ 習い事にくるこどもに笑顔で挨拶をします
- ▶ 学校支援ボランティアで学習のサポートをしました
- ▶ 近所のこどもたちと一緒に遊びました
- ▶ 今しかできない子育てを楽しみたい
- ▶ こどもと話す時は必ず視線をあわせます  
など



こどもまんなか  
応援サポーター  
啓発動画



※鹿児島市の若者と一緒にはじめました。



こども  
まんなか

# こどもまんなか応援サポーター動画づくりワークショップについて

こどもまんなか応援サポーターを知ってもらう動画を作成するため、大学生や社会人、子育て中のパパママなど18名の若者が参加しました。4回のワークショップを通して「こどもまんなか」について理解を深め、「こどもまんなか」に向けて、自分たちができるアクションについて、意見を出し合いました。

1回目

## こどもまんなかを知る・考える 令和7年10月11日

こどもまんなか社会や応援サポーターについて考えました。



2回目

## 動画のアイデア出し 令和7年10月28日

伝えたい動画のイメージを実体験をもとに考えました。



3回目

## 絵コンテの検討 令和7年11月25日

より身近に感じられるように絵コンテにアイデアをプラスしました。



4回目

## 動画の仕上げ、振り返り 令和8年1月17日

試作の動画の仕上げと、こどもまんなか社会への想いやワークショップの感想を話し合いました。



## 参加者の感想

動画づくりに参加したことで、自分にはこどもの頃にたくさん支えてくれる人がいたと気がきました。この循環を未来にたくしていきたいと思いました。

最初は「こどもまんなか」の言葉も知りませんでした。様々な人と一緒に学び話すなかで知識も得られたし、考えも深められました。この活動がもっと広がって欲しいです。



## 鹿児島市こどもの未来応援条例について

鹿児島市では、全ての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、等しくチャンスを得て、夢と希望を持ち健やかに成長していける社会の構築を目指し、令和5年に「こどもの未来応援条例」を制定しました。条例の内容がわかる年代別のパンフレットや、こどもを支える側に実施してもらいたい「取組事例集」もありますので、皆さん「こどもまんなか応援サポーター」のアクションの参考にしてください。

[【こどもの未来応援条例サイト\(こども向け\)】](#)

[【こどもの未来応援条例サイト\(大人向け\)】](#)



詳しくはこちら



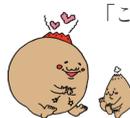
詳しくはこちら



こどもまんなか応援サポーター宣言



鹿児島市は、すべての子どもたちが、夢や希望を抱きながら健やかに成長できるように、また、幸せに暮らせるように、常に子どもたちにとって最もよいことは何かを考え、子どもたちを社会全体で支えていく「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、「こどもまんなか応援サポーター」になることを宣言します。



令和6年1月27日  
鹿児島市長 下鶴 隆央

「こどもの未来応援条例施行記念イベント」にて、宣言を行いました。

お問い合わせ

鹿児島市こども未来局 こども政策課  
TEL.099-216-1514 (平日8:45~16:30)

